

# 第11回全国鳥獣被害対策サミット

～地域の未来と獣害対策起点の地域づくり～

(解題)

## 地域政策としての 獣害対策の未来とは



兵庫県立大学

山端 直人



# 自己紹介

農林水産省⇒三重県庁⇒現職

山端 直人 兵庫県大／兵庫県森林動物研究センター

専門:「農村計画」「アクションリサーチ」  
「野生動物の被害管理」

～社会調査、集落づくり、被害防除、捕獲、政策提案まで～

# 集落や地域で獣害の改善方法を「提案」し「課題解決」を図る実践 ～年間で20集落、累計約300の集落で実践～

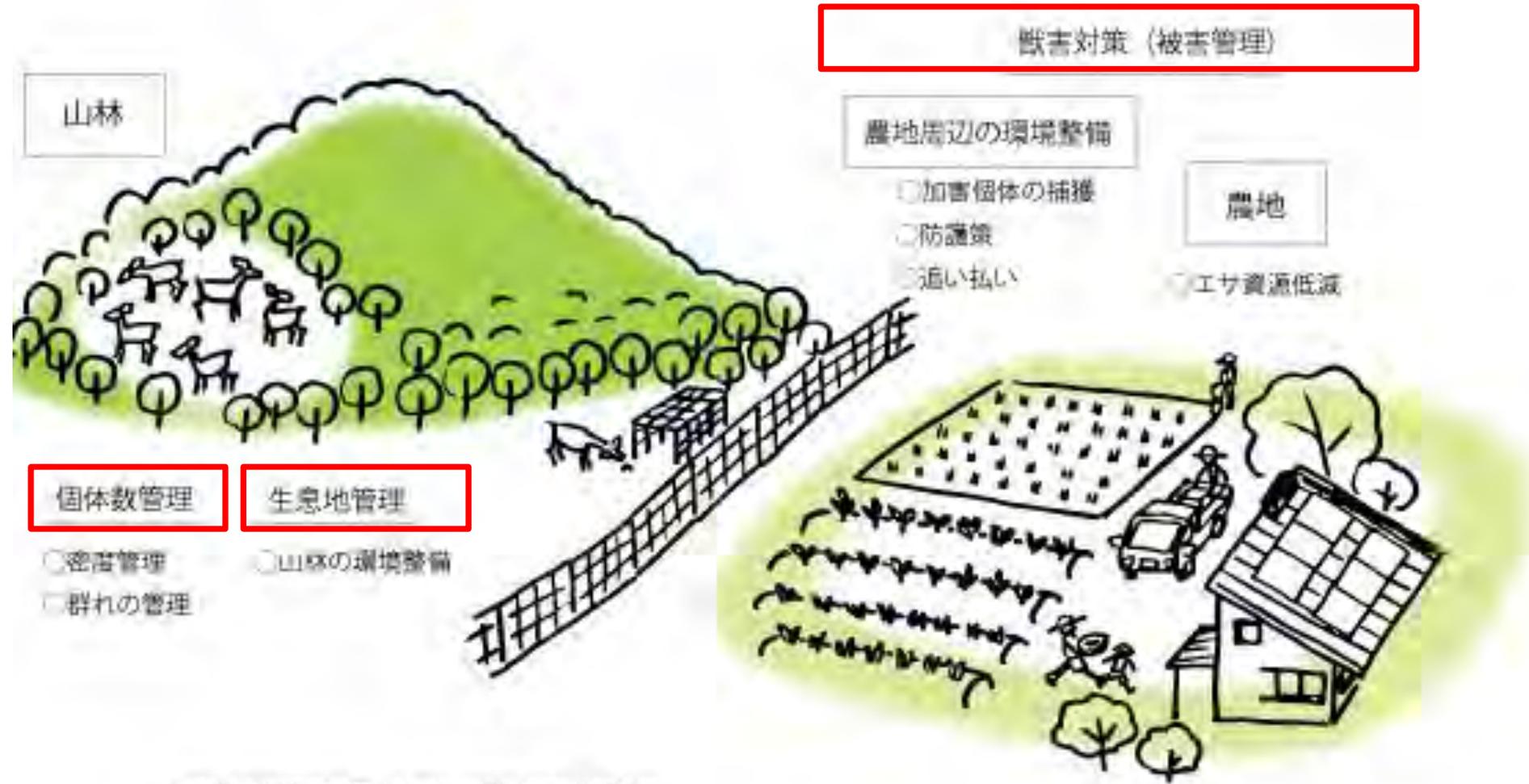


研究・教育と、被害現場や行政機関との「実践」が自身の強み

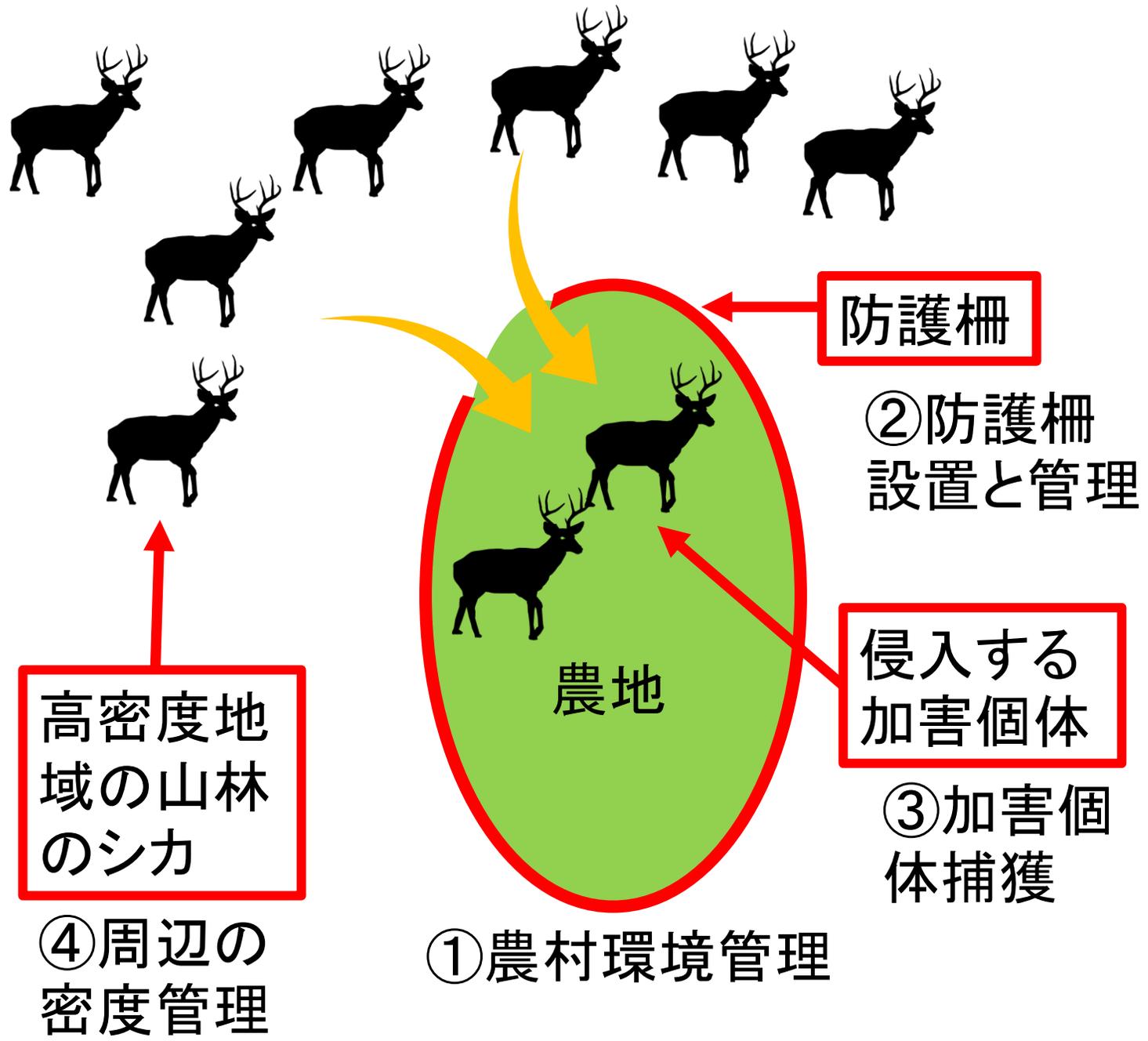
集落の合意形成理論(ご要望あれば要請ください)

# 解題

# 野生動物管理(ワイルドライフマネジメント)の概念図



野生動物管理と害獣対策の概念図



防護柵

②防護柵  
設置と管理

侵入する  
加害個体

③加害個  
体捕獲

農地

①農村環境管理

高密度地  
域の山林  
のシカ

④周辺の  
密度管理

地域主体の防衛と捕獲で  
シカ、イノシシの被害解消

兵庫県相生市小河集落  
(R2局長賞受賞)



# 相生市小河



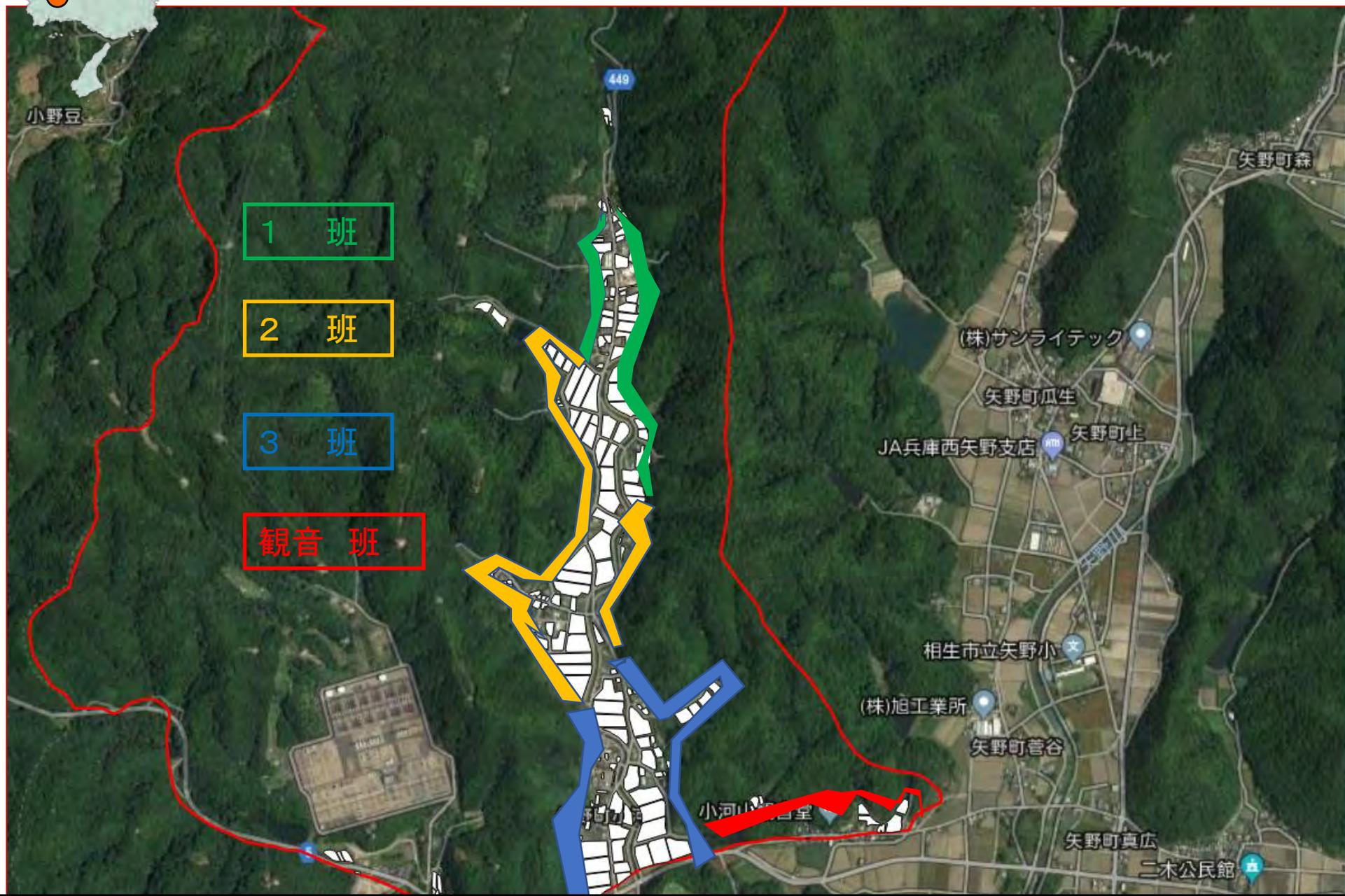
- 戸数 75戸
- 人口 240
- 高齢化率 37%
- 農家 52戸
- うち稲作 32戸
- 農地 2.5 ha

地域主体で  
防護柵管理



地域施WWM柵(鉄柵)を設置

# 相生市小河 4 班で 2 回/月の柵点検





設置したWM柵は地域で点検

しかし、進入する  
加害個体も増加



08/09/2018 19:54:59  
60 Sec

地域主体で  
捕獲も開始



地域で箱罾を設置して管理



市、県、調査員等でくりワナの管理技術研修



加害個体を捕獲！



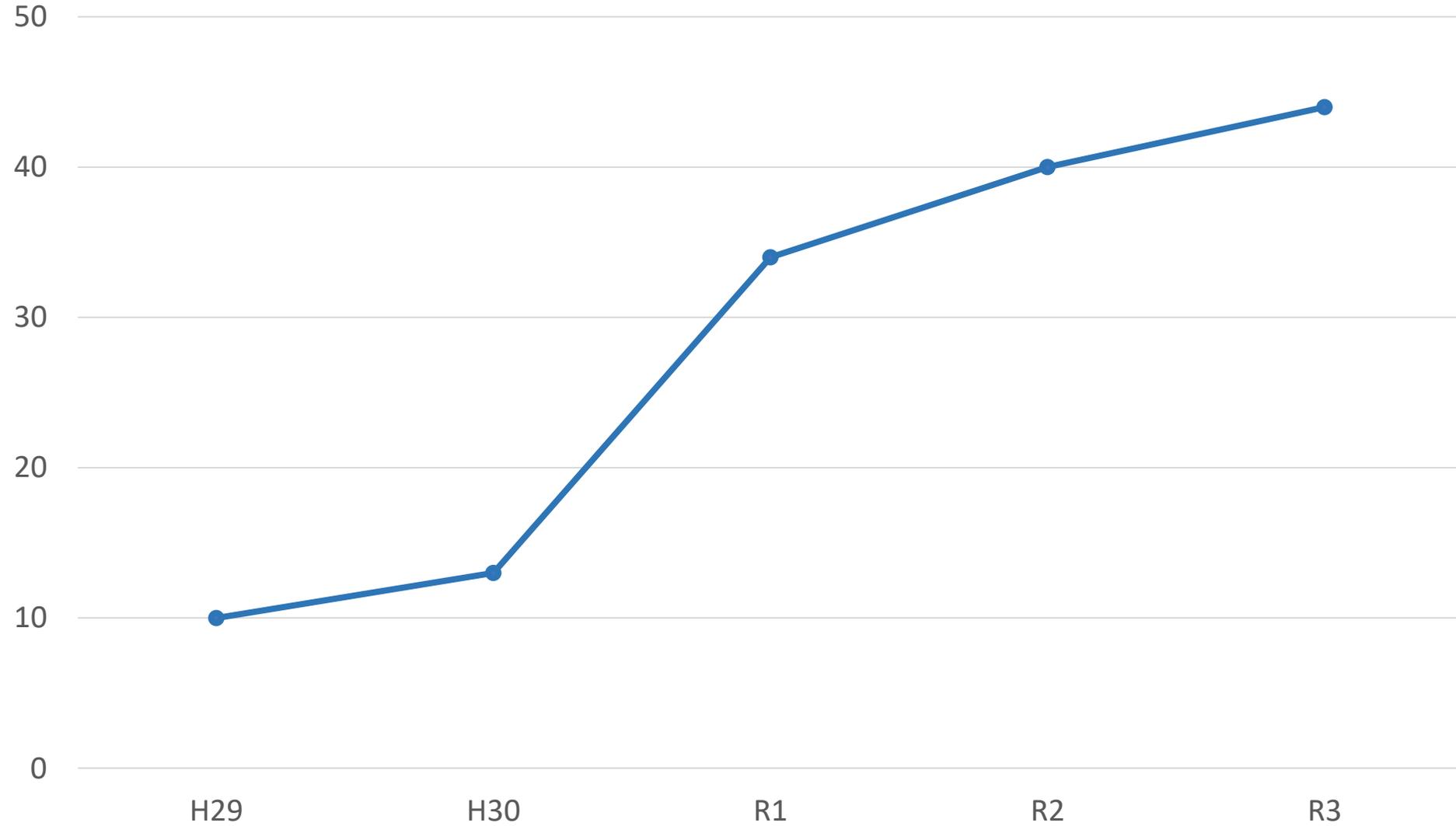
加害個体を捕獲！



罟は地域でこまめに移設

# 小河集落の捕獲数推移(シカ+イノシシ)

総捕獲数



場所の改善×技術向上で集落の捕獲数は増える